

組合やる気応援プロジェクト

## 平成30年 第6回「高松山」山行計画書

マツダ親和会山岳部

本丸跡の山頂から素晴らしい眺望

日時) 6/23(土) 9:00 ~ 14:00

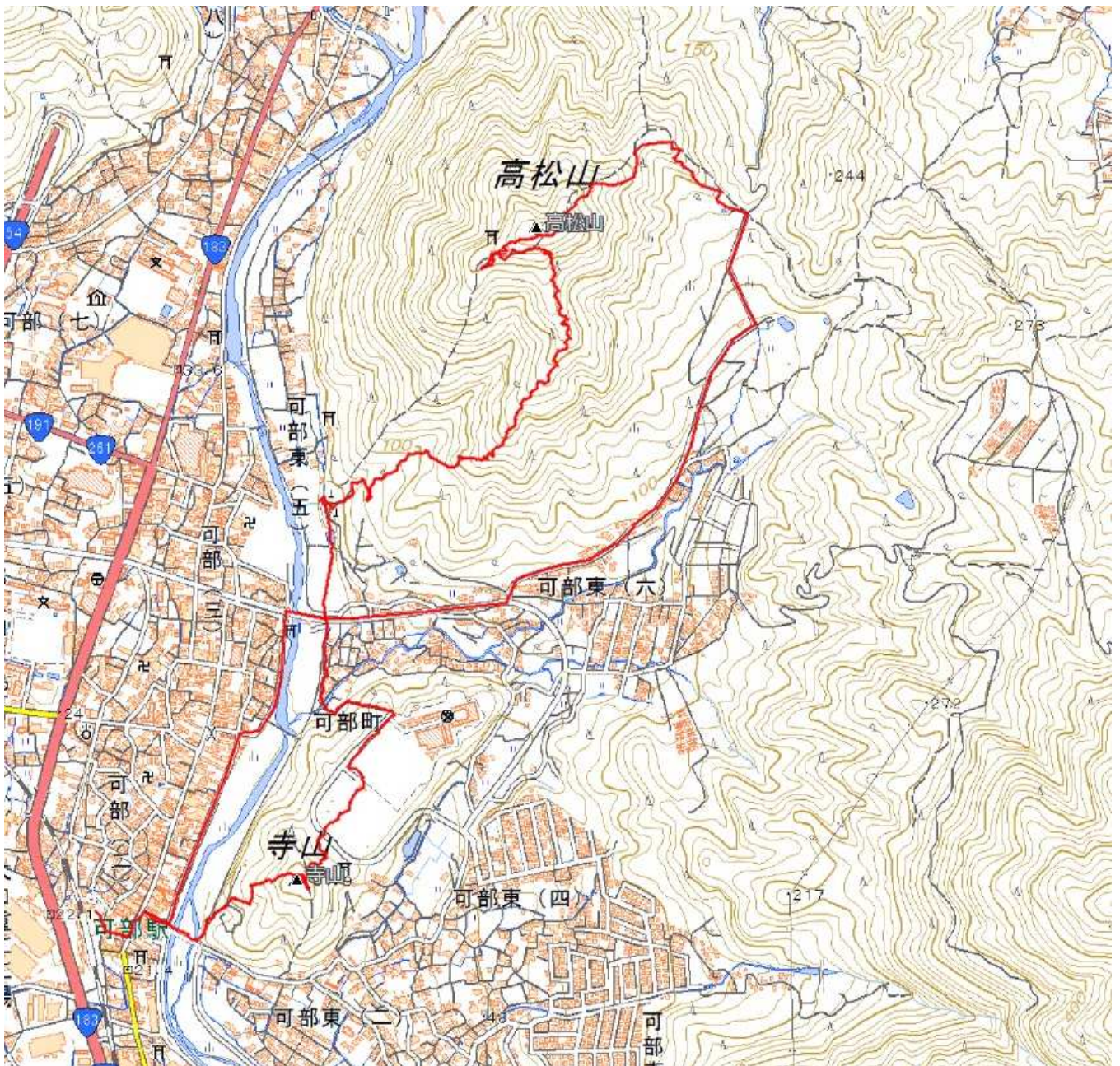
場所) 高松山(339m)・寺山 広島市安佐北区

講師) マツダ親和会山岳部

集合) 9:10 JR 可部駅 集合 広島駅(8:01)8:20 = = (8:46)9:05可部駅  
14:00 可部駅 解散予定 (\*時刻表は最新のもので、確認下さい。)

持参品) ザック・雨具・タオル・弁当・水筒・嗜好品・健康保険証(写し)・その他ストック等各自で必要と思うもの

スケジュール) 可部駅9:15 - - 寺山9:35 - - 登山口10:10 - - 馬場・井戸跡11:00 - - 高松神社11:10 - -  
- - 11:20高松山山頂・本丸跡(昼食)12:20 - - 桐原分岐12:40 - - 上原登城口(高松峠)12:50 - -  
- - 13:40可部駅



## 案内板より

### 高松城跡

熊谷氏は、承久の変(1221年)の戦功の賞として、この辺りから安芸国三入庄の地頭職を与えられ、武蔵国熊谷郷(埼玉県熊谷市)から大林の[伊勢が坪](#)に移って来て居城を構えた。次第に勢力を延ばした熊谷氏はのちに三入庄の南の入り口に位置するこの高松山(339m)へ城を移した。築城は四代目直経の時代であったが、実際の入城は勢力が強大になった十二代目信直の時代(1,500年頃)と思われる。しかし入城の年代には諸説があって明確ではない。

西方眼下に根の谷川が南流し、北方は桐原の溪谷が大きく空堀の役目を果たしたこの急傾斜の高松城は、容易に人馬の登はんを許さず、守りやすく攻めにくいこの近辺では希に見る名城と言われ、鎌倉時代の典型的山城である。

熊谷氏はこの城で毛利氏の家臣として活躍したが、毛利輝元が1591年に広島城を築いて移城すると、十三代目熊谷高直もこの高松城を廃して広島入りした。のちに熊谷氏は、関が原の合戦(1600年)で敗れた毛利氏に従って山口県の萩に移った。

この高松城は、徳川幕府が出した「一国一城令」(1615年)によって、跡形もなく取り壊された。山頂近くに本丸、二の丸、馬場井戸跡がある)、鐘ノ段、明覚寺跡、与助の丸など大きい郭が残っている。

熊谷氏の遺跡として、この高松城跡と[伊勢が坪城跡](#)(大林)、菩提所観音寺跡(三入)、[土居屋敷跡](#)(三入)の四つが県史跡指定を受けている。